

伊豆山復興まちづくり通信

熱海市まちづくり課 建築室広報誌

創刊号
R4.6

今回の土石流災害によりお亡くなりになりました方々の御冥福を心よりお祈りするとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。

今なお1名の行方不明者の方の捜索が行われている最中であり、大変心苦しい気持ちでございますが、熱海市役所まちづくり課では、被災した地域の復興へ向け地域のまちづくりに取り組んでおります。

今後、まちづくりの情報を、このチラシでお知らせしていきますので、ご覧いただければ幸いです。

復興まちづくりに向けた建築室の取り組み

- 堆積土砂搬出事業 ①旧小嵐中学校跡地 堆積土砂仮置き・選別作業
②熱海港芝生広場 堆積土砂仮置き・選別作業
③多賀地区南工区（旧長浜海岸） 堆積土砂による埋立
④熱海港渚地区第4工区 堆積土砂による埋立【完了】
- 復興まちづくり計画策定 . . 地域の皆様のご意見を伺いながら計画の策定を進めています。
- 個別訪問 被災された皆様のご意向を復興まちづくり計画や復興事業に反映できるよう、個別の面談にご協力をいただいております。
- ワークショップ 地域の皆様に意見交換をしていただき、その声を伺い共有し、復興まちづくり計画への反映を目的としています。

堆積土砂搬出事業進捗状況の報告



R4.6.1現在

旧小嵐中学校跡地では、堆積土砂に混じっているガレキを分ける作業を行っています。

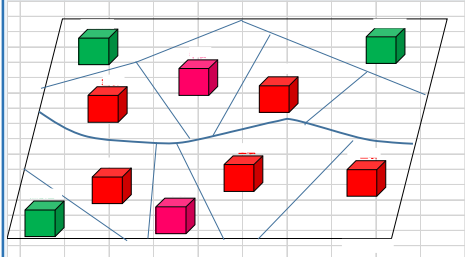
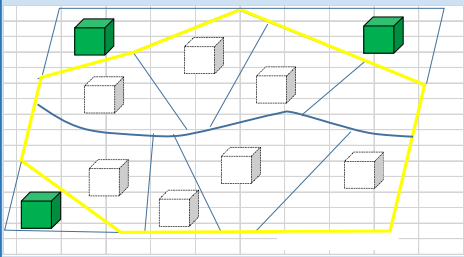
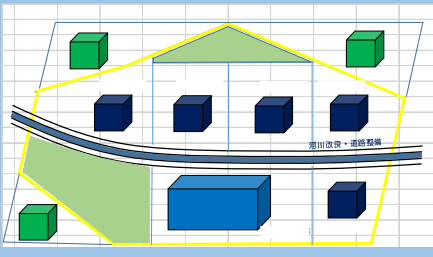













R4.6.1現在

熱海港渚地区第4工区では、堆積土砂による埋立が完了しました。

復興まちづくり計画説明会を開催

5月27日（金）に岸谷会館、5月28日（土）に市役所4階にて、復興まちづくりの事業手法について、説明させていただきました。

被災後	事業実施時	復興後
<p>赤、ピンクの箇所が全壊、半壊等で建替えが必要な建物です。緑色は修繕可能な建物です。 外側の黒いひし形の枠が、災害対策基本法63条で立入り規制されているエリアです。</p> 	<p>建替えや宅盤（地面・石積など）の復旧が必要な土地を基本に、事業区域を設定します（黄色線）。 復旧が必要な範囲の土地を市が買収し、公共施設や宅盤の整備を行います。 緑色の建物は立入り規制が解除され、ライフライン等が仮復旧すれば、事業途中で戻れる方がいます。</p> 	<p>区画が整理された宅地が再分譲され、帰還する方はその土地に住宅を再建します。 余剰地を利用して、集会場や緑地などを整備します。 希望があれば、被災者向け市営集合住宅を建設します。</p> 
<p>  全壊  半壊  修繕可  63条区域 </p>	<p>  撤去  修繕可  事業区域 </p>	<p>  修繕可  再建住宅  集会場等  緑地等 </p>

参加者の皆様からは、「元々住んでいた自分の土地に戻れないのか」や「畑仕事を生きがいにしているのに畑を取られてしまうのか」などの質問がありました。

今後、個別面談等で皆様のご意見ご要望を伺いながら、事業区域を設定し、事業を進めてまいります。

規制区域内の皆様へ個別訪問ご協力をお願い

現在、建築室では避難生活をされている皆様との個別面談を進めさせていただいております。令和4年5月末時点で、約110名の方にお会いすることができました。

引き続き、お会いできていない方や土地所有者の方、また、一度面談させていただいた方にも再度ご連絡の上、面談のお願いをさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

お問合せ先

熱海市まちづくり課 建築室
〒413-8550 熱海中央町1番1号

TEL 0557-86-6428
E-mail kenchiku@city.atami.shizuoka.jp